

今、輝いている あなたにクリック

Click on you shining now



村瀬 俊リーダー

上野 梓 上級リーダー

編集 今回の「今、輝いているあなたにクリック」は、ふたみ介護老人保健施設より、上野梓上級リーダー、村瀬俊リーダーのお二人です。
現在のお仕事を含めて、どれくらい勤務されていますか？

上野 20年目となります。

村瀬 平成19年入社なので、勤続15年になります。

編集 入社されて一番印象深かった事は何ですか？

上野 入社が決まり、勉強会に参加するために電車を利用したのですが、駅を降りると白杖を使用された方が歩いてみえました。その時、私の前を歩いていた女性がすかさず声をかけていました。私は何もできなかったのですが、ただただ驚かされました。実はその女性も同じ勉強会に参加しており、後の同期の仲間でした。困っている時に自然と声をかけて手を差し伸べる素敵な人がいる法人と一緒に働けるんだと思い、とても嬉しく印象的でした。また、同期入社の職員さんが今もたくさん頑張っているのも、それもお仕事を長く続けられる一つの要因だと思います。

村瀬 すみません、多すぎて一番は決められません。日々、記憶のアップデートを心掛けていますが、追い付かないくらい濃密な毎日を送っています(笑)

編集 ご利用者に関わる中で信念や大切にしている事はありますか？

上野 ご利用者お一人おひとりの気持ちに寄り添うことです。私自身元気だけが取り柄ですので、明るく元気よくをモットーに過ごしています。

村瀬 楽しく笑顔で過ごして頂ける様に声掛けさせて頂いています。

編集 長引くコロナ禍の中で、施設としても様々な困難に直面したと思います。そんな中で大変だったこと、工夫したことや学んだことなどがあれば教えてください。

上野 自宅とは違い入所施設ですので、ご利用者の生活に外出や面会などの機会が減ってしまい、心苦しく思いました。中でもタブレットの活用や、窓越しでの面会などできる方法を工夫し面会して頂いています。ご利用者にとって、ご家族に勝るものはないと改めて感じました。当たり前の何気ない日常に感謝する日々です。

村瀬 施設では支援相談員という仕事をさせて頂いているのですが、その部分だけで言えば、入所や退所の調整をしていた方の予定が延期や中止になったり、訪問や面談の参加人数に制限がかかったりと大変なこともありました。ただ、マイナスな面だけでなく、Zoomアプリを使っただけの面談であったり、業務の効率化に繋がる機会にもできたかと思えます。

編集 趣味や休日の過ごし方は何ですか？

上野 趣味はドラマを観たり音楽鑑賞です。休日は家族で河原へ行ってアウトドアを楽しんでいます。

村瀬 休日は子どもと遊ぶことが多いです。男の子ばかり三人なのですが、やんちゃ盛りなので体力を使います(笑)最近では、アガベという植物を育てています。鉢の植え替えや、土の配合をしたり結構本格的に手をかけています。

編集 本日はありがとうございました。これからも、ふたみシルバーケア豊寿園の顔としてがんばってください！

洗心

学びを
支える未来へ



- p2. 地域で学び育つ
- p3. 未来へ翔ける実習生
- p4. たのしかった 運動会ごっこ
- p5. 心をこめて…
- p6. ICT 導入のその後
- p7. 新人集いハイキングで交流
- p8. 今輝いているあなたにクリック

法人理念

- 1 当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- 2 当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- 3 当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

社会福祉法人 洗心福祉会からの お知らせ

社会福祉法人洗心福祉会の令和3年度理事会及び評議員会が3月16日(水)及び3月24日(木)に洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にてそれぞれ開催されました。理事会では理事6名と監事2名、評議員会では理事のほか評議員が7名、監事が2名が出席され、管理規程の一部を改正する規程や新型コロナウイルス感染症への法人の対応等の議案及び報告案件について厳正に審査され、それぞれ原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示版に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務課にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申下下さい。

地域で学び育つ

盛夏の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年から続くコロナ禍は少しずつ感染拡大が減少しつつあります。その間、新型コロナウイルス感染症が変異するように、私たちの生活様式も大きく変化しております。介護、障がい、児童、医療等の福祉サービスを提供する我々の現場では、不織布マスクの着用、フェイスシールドの着用、換気、手指衛生、検温等が定着し新型コロナウイルス感染症を防ぐべく対策に日々尽力しているところです。一方で、世界情勢に目を向けるとロシアがウクライナへ侵攻し3か月以上が経過していますが一向に終息する気配がなく日々戦況を伝えるニュースだけが報道され戦争の悲惨な現実が身近に迫ってきていると感じます。また、戦争の影響は物価高や燃

料費の高騰、円安など家計にも大きな影響を与え全世界に及ぼしているような状況で深刻です。一刻も早い終戦を願うばかりです。

私は、令和4年4月から伊賀地区老人介護事業部に加え鈴鹿地区老人介護事業部を管轄させていただくことになりました。感染症対策を実施しながらの運営については、ご利用者やご家族、職員の皆様や地域の皆様のご理解ご協力を賜り感謝申し上げますとともに、引き続き感染防止対策に努め安心安全なサービスの提供に努めてまいります。

さて、私が所属する特別養護老人ホーム伊賀シルバーケア豊壽園では、令和4年5月から三重県立伊賀白鳳高等学校ヒューマンサービス科介護福祉コースの学生の実習受入れを行っております。この実習は、国家資格である介護福祉士を取得する過程で必要な実習で介護福祉士実習指導者による現場実習を数

伊賀地区老人介護事業部 部長 竹尾 光次

カ月にかけて行っていただきます。この実習は、学生だけの学びではなく受入れ側が再び介護福祉士として学び直す良い機会となります。高校では、介護についての知識等を学びます。そして地域の福祉施設では、介護の現場、介護の実際について学びます。まさに「地域で学び育つ」が実践されています。近い将来、介護福祉士となり地域で活躍いただける日を楽しみにしております。最後になりますが、伊賀の地で伊賀総合ケアセンターシルバーケア豊壽園を立ち上げ、今年の8月で10年の節目を迎えることとなります。これも私たちが温かく迎え入れ応援してくださいました地域の皆様方のおかげと深く感謝しております。今後も、公器として地域社会に貢献し皆様方から「豊壽園さん」と親しみをこめてお声いただけるよう常に誠意を持って前向きに取り組んでいく所存です。



伊賀総合ケアセンターシルバーケア豊壽園

未来へ翔ける実習生

特別養護老人ホーム伊賀シルバーケア豊壽園では、令和4年度より三重県立伊賀白鳳高等学校ヒューマンサービス科介護福祉コース3年生2名の介護実習を受け入れています。

「介護の現場において、学習した知識や技術を統合させ、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を身に付けること」を目標に奮闘してもらっています。学校で勉強してきたことを存分に発揮しつつ、実際に行う身体介護や、コミュニケーションに苦戦しながらも、時折メモを取りながら頑張る姿はとても頼もしく感じられました。指導する職員もまた、そのフレッシュな姿に刺激を受けながら指導する難しさはもちろんのこと、指導できる楽しさを実感できたことでしょう。

将来この経験が糧となり、夢に向かって頑張ってくれることを期待しています。



たのしかった 運動会ごっこ

豊野保育園の4歳児、5歳児の子どもたちが5月26日に、2歳児、3歳児の子どもたちが6月1日に運動会ごっこを楽しみました。わくわくしながらいっしょ体操でスタートしました。カゴをめがけて頑張って投げた玉入れ、みんなの応援を受けて力いっぱいゴールを目指したかけっこや友だちにバトンが渡せた時は嬉しかったリレー、みんなで元気にジャンボリミッキーも踊りました。最後には手作りのメダルを首にかけてもらい、どの子も「たのしかった」とたくさんの笑顔を見せていました。



「心をこめて・・・」

毎年、世代間交流として ふたみシルバーケア豊寿園へ年長組のきりん組の5歳児より季節折々の壁面などを贈っています。今回は雨が続いて気持ちが塞ぎがちになる梅雨を少しでも明るくして頂ければと、あじさいの壁面を作りました。新型コロナウイルス感染症の為ふれあう交流が難しくなっておりプレゼント交流の形となっていますが、誰かに喜んでもらえる為に作る製作は日頃の製作と違い、温かい気持ちや優しい気持ちが芽生えます。これからも色々工夫しながら交流を続け子どもたちの心の育ちになっていけたらと思います。



ICT 導入のその後

津市本町の津中央ヘルパーステーションでは、ICT を導入して早 3 年目を迎えます。今回はその ICT 導入までの道のりや導入効果についてお伝えしていきます。

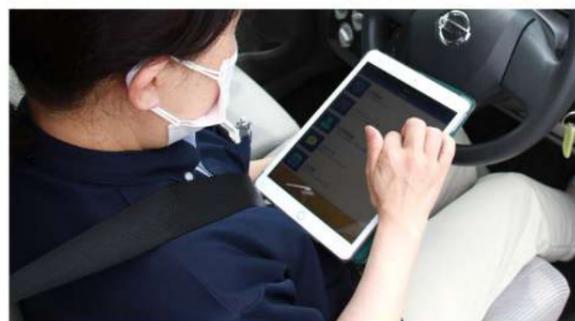
導入に当たっては、まずシステムの選定からスタートしました。条件として誰でも簡単に使うことができ、スマートフォンが苦手な職員でも容易に記録や操作ができるもの。また、津中央ヘルパーステーションが課題としていた特定事業所加算の算定条件に適したシステムで、なおかつ請求ソフトと連携できるものを選定しました。

当初はシステムを全職員が使いこなすことができるのか?心配な面もありましたが、現在「もう紙の記録には戻れない」「請求業務による残業がなくなった」など事業所の職員にはなくてはならないツールの一つになっています。サービス提供責任者からは、現場のヘルパーがタブレット端末で記録を入力しその場で送信することができるのでリアルタイムに状況確認ができ、ご利用時の様子や管理業務の効率化が図れ、ケアマネジャーへの連携も今まで以上にスムーズに行えるようになったとの声もあります。

今年度から更に請求業務の効率化が図れるように三重県のICT導入支援事業を活用し請求ソフトとの一気通貫システムへのバージョンアップを図っています。

新型コロナウイルス感染症が流行し、ここ数年で研修や会議の在り方も見直され、ICT を活用した様式へと様変わりしました。津中央ヘルパーステーションでも導入したタブレット端末を活用し、研修・会議を Web システムを活用して開催し感染対策と研修・会議への参加率向上に繋がっています。

令和 4 年度は法人内の他の訪問介護事業所への展開も視野にICT化を進めていきたいと考えています。



ICTデバイスを使用し業務を行うヘルパーステーションスタッフと訪問看護ステーションスタッフ

新人集いハイキングで交流

5月21日に接遇委員会主催による新人研修が開催されました。

4月から新しい仲間となり、期待と不安の中を突き進んできた新人職員。特に新卒・第二新卒の方は、初職場であり、初社会人でもあるということで、もしかしたら「期待」よりも「不安」の方が大きかったかもしれません。そこで頼れる上司や普段からサポートしてくれる先輩からのアドバイスも大切ですが、「覚えることたくさんで仕事大変だよ」とか「ご利用者からありがとうって言ってもらえてうれしかった」など新人という同じ境遇の同期と価値観を共有できることも大切なことです。

コロナ禍以前は、内定の時点で仲間づくりができるよう一泊二日のキャンプをしていたのですが、この2年間は感染予防のために行っておらず、オンラインでの研修に切り替えている状況でもあります。

そこで今年度の新人研修は「同期の絆を深める」を目的に、感染予防を行いながらハイキングを企画しました。松阪市にある松阪農業公園ベルファームから松阪市森林公園まで片道約5kmの行程で、グループに分かれて、メンバーの共通点をできるだけ多く見つけようというミッションのもとで行われました。最初は緊張気味のメンバーでしたが、次第に会話の糸口を見つけて話を広げていくことができていました。新緑の林道を歩くことで気持ちもリフレッシュすることができたようです。朝からなんとか持ちこたえていた天気でしたが、森林公園で昼休憩のときに小雨が……。でも1時間でやんでくれたおかげで最後まで歩きまわることができました。最後は疲れを見せつつも、グループ以外のメンバーとも交流している姿もあり、うれしく思いました。

今回の研修を通してできた同期との絆を大切にしながら、日々の業務にこれからも励んでもらいたいと思います。



新人職員と接遇委員会スタッフ集合写真

